



社内コミュニケーション

充実した社内コミュニケーションや社員の一体感を醸成するために、各種イベントやイントラネットを活用したコミュニケーション・ツールなど、さまざまな機会や場を提供しています。

テクニカル・シンポジウム主催 パネルディスカッション

社員一人ひとりの技術力の向上や、組織としての技術の蓄積・向上を目的としたイベント「テクニカル・シンポジウム」の一環として、「パネルディスカッション」や「アフター5セミナー」を定期的に開催し、毎回多くの社員が参加しています。2007年9月に行われた第6回「パネルディスカッション」では、『「日本ユニシス版プロジェクトX」～SE栄光物語～』と題し、プロジェクトマネージャとしてシステム開発を成功に導いたSE社員4名による現場の体験談が展開され、プロジェクトマネジメントのノウハウ共有や、参加した社員のモチベーション向上に役立てられました。



「日本ユニシス版プロジェクトX」

由にコメントを加えるようにすることで、登録をした側は自分が登録した情報がどのように活用されているかを把握できるようになっています。

2008年5月時点で700名を超える社員が利用登録していますが、今後も「情報協創」型ツールとして幅広く活用されていくよう、随時、機能を拡張していく予定です。

各種懇親会やイベントの開催

社員同士のコミュニケーションの輪を広げる場として、「コミュニケーション・デー」をはじめとしたイベントを実施しています。九州支社においては昼食会を兼ねたグループ会社間の連絡会議を毎月開催しているほか、業務後の時間帯、いろいろな機会に懇親会やイベントを開催しています。



参加者の声

- これからの日本ユニシスグループへの期待感や夢の持てるディスカッションとなっていた。
- みなさんの「ひたむきさ」や「やりぬく力」を知ることができ、勇気をいただいた。
- 「大好きなユニシスを夢のある会社になりたい」というメッセージは心に残った。

「情報協創」型コミュニケーション・ツール 「tacoPot」の活用

「tacoPot」は先端技術部とグループIT推進部の共同開発によるユーザー（社員）参加型の情報活用システムです。

本システムでは、ユーザーが登録した技術情報やマーケット情報などのファイル・コンテンツを、ファイルの格納場所にとらわれず、類似情報を含めスムーズに検索できるよう、検索の手がかりとなる任意の語句（タグ）を貼り付けることができます。また、登録されている情報に対して閲覧者が自



「tacoPot」(2008年1月からグループ企業内で利用開始)

V OICE 日本ユニシス九州支社長から

イベントを通じた自由闊達な雰囲気醸成

支社内におけるコミュニケーションの場の一つとして、5年前より定期的にワインパーティを開催しています。当初は、ボジョレヌーヴォーの「瓶」を用意しましたが、今では人数も増え「樽」を用意しています。長く開催していると、本社の方や共同研究でお世話になっている大学の先生に「飛び入り参加」いただくこともあります。

昨年10月には、ヴァイオリニストの川島成道さんによるチャリティコンサートを開催しましたが、参加した社員と家族のみなさまには「自分たちのためだけに演奏してくれた」という特別な感動があったと思います。また、地域にお住まいの目の不自由な方も招待させていただき、大変喜んでいただきました。

社内コミュニケーションというのは、すぐに具体的な効果が現れるものではありませんが、こうしたイベントを積み重ねていくなかで自由闊達な雰囲気が生まれてくれば、必ず仕事にも役立つことと思います。今後も、みな楽しんでくれるような新しいことを企画していきたいと思っています。



日本ユニシス九州支社長
岡部 長栄(前列中央)